

ANTENNA

第3回全統高2模試

全国51,112名の高2生が参加して実施された第3回全統高2模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、高2の10月までの学習内容の総整理と弱点科目・分野の発見、補強を目的として重要項目を扱っています。

「学習の手引き」や本冊子を活用して、誤答箇所を再確認し、成績内容をよく研究してより効果的な学習を進めてください。今の実力に甘んじることなく、早目に目標を定めて着実に学習を重ねていきましょう。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/

スマートフォンの方はこちら



も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0

 **模試ナビ**
河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくは4ページをご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位 (人)	平均点 (人中)	順位 (全国偏差値による) (位)	偏差値	平均点	順位 (全国偏差値による) (人中)			
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893	144624	68.8	247	2859	74.1	66.0	7	284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646	136281	78.6	555	2859	58.9	87.5	59	283
数学 必須問題	89 / 150	63.9	A	64.2	12200	136281	64.9	816	2859	55.4	71.4	90	283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4490	135038	14.0	101	2815	67.0	16.2	9	281

全統高2模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位 (人)	平均点 (人中)	順位 (全国偏差値による) (位)	偏差値	平均点	順位 (全国偏差値による) (人中)			
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893	144624	68.8	247	2859	74.1	66.0	7	284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646	136281	78.6	555	2859	58.9	87.5	59	283
数学 必須問題	89 / 150	63.9	A	64.2	12200	136281	64.9	816	2859	55.4	71.4	90	283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4490	135038	14.0	101	2815	67.0	16.2	9	281

設問別成績	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位 (人)	平均点 (人中)	順位 (全国偏差値による) (位)	偏差値	平均点	順位 (全国偏差値による) (人中)
リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	31.0%	Sレベル	12.7	5.3	3
2. 英検	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%		2.6	0.4	0
3. 英文・和文	15 / 21	12.4	12.1	17.1	-4.1	-6.5%		15.9	-2.9	8
4. 英作文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	1.9	4.8%		21.1	-0.1	4
5. 長文総合	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%		38.8	-7.8	6
6. 長文総合2	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%		40.1	-1.1	5

設問別成績	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位 (人)	平均点 (人中)	順位 (全国偏差値による) (位)	偏差値	平均点	順位 (全国偏差値による) (人中)
リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	31.0%	Sレベル	12.7	5.3	3
2. 英検	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%		2.6	0.4	0
3. 英文・和文	15 / 21	12.4	12.1	17.1	-4.1	-6.5%		15.9	-2.9	8
4. 英作文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	1.9	4.8%		21.1	-0.1	4
5. 長文総合	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%		38.8	-7.8	6
6. 長文総合2	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%		40.1	-1.1	5

2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう H: 教科不足による国立大参考評価

全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

学力要素別成績	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	偏差値	順位 (人中)	あなたと同じ学力レベル層との比較
知識・技能	61.7	36.6	31.4	64.7	7.0	知識力 ★
思考力・判断力	62.6	40.3	32.5	65.2	-2.6	思考力 ★
表現力	75.0	46.1	36.8	72.0	3.0	表現力 ★
知識・技能	52.7	53.9	58.2	56.9	-4.2	知識力 ▲
思考力・判断力	78.3	59.9	62.4	63.2	15.1	思考力 ★
表現力	100.0	58.4	64.8	59.4	40.6	表現力 ★
知識・技能	48.0	41.6	38.4	50.1	-2.1	知識力 ▲
思考力・判断力	71.8	56.5	55.1	66.6	5.2	思考力 ★
表現力	39.3	32.3	29.7	39.2	0.1	表現力 ★

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 本年度の第1~3回全統高2模試・全統記述高2模試の成績推移を表示しています。

回	偏差値	30	40	50	60	70
1 (5月)	57.1					
2 (8月)	64.2					
3 (月)						

5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差があったのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を、以下の5段階で表示しています。

A : この調子で頑張れば合格圏内
B : もうひとふんばりで合格圏内
C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう
D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう
E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう
H : 教科不足による国公立大参考評価

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



4. 成績推移

■本年度の第1～3回全統高2模試・全統記述高2模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆総合成績表 受験者総数 51,112名

英数（理系）、英国（文系）は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	140.5	-----	48.1	332	19	2344
英国型	400	148.7	-----	47.9	372	4	5510
英数国型	600	243.8	-----	50.3	545	0	43106
英数	400	167.8	-----	51.7	386	0	26592
英国	400	159.6	-----	49.8	372	0	24368

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を河合塾ホームページに掲載しています。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

スマートフォンの方は
こちら



◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	74.4	33.7	50.0	191	0	50999
数学	200	80.1	41.3	50.0	200	0	45529
数学必須	150	65.0	32.4	50.0	150	0	45529
数学選択	50	15.4	11.6	50.0	50	0	44555
国語	200	86.9	26.8	50.0	184	0	48673
現代文	110	54.4	15.5	50.0	102	0	48673
古文	50	15.8	7.9	50.0	50	0	48673
漢文	40	16.7	9.3	49.9	40	0	48673

◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	74.4	33.7	191	0	50999
1	リスニング	31	9.4	5.5	31	0	50999
2	単語・イディオム	20	5.5	3.5	20	0	50999
3	文法・語法	26	11.5	5.0	26	0	50999
4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	7.2	5.5	29	0	50999
5	長文総合Ⅰ	54	20.7	12.1	54	0	50999
6	長文総合Ⅱ	40	20.1	10.8	40	0	50999

国 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	86.9	26.8	184	0	48673
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	29.5	8.6	55	0	48673
2	現代文「随筆」の読解と内容把握	50	25.0	9.7	50	0	48673
3	古文「物語」の読解と内容把握	50	15.8	7.9	50	0	48673
4	漢文「漢詩」の読解と内容把握	40	16.7	9.3	40	0	48673

数 学 *数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤・⑥は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	80.1	41.3	200	0	45529
1	数学Ⅰ・A・Ⅱの小問集合	40	25.4	12.2	40	0	45529
2	高次方程式、確率	60	26.0	13.2	60	0	45529
3	図形と方程式（円と直線、軌跡）	50	13.6	11.6	50	0	45529
4	三角関数の応用	50	11.1	12.5	50	0	10543
5	3次・4次関数の微分法の応用	50	17.0	10.1	50	0	18070
6	数列（漸化式、和）	50	16.5	11.8	50	0	15942

小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語		受験者数： 50999 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	リスニング	31	9.4	1.A.1	3	0.2	○								
				1.A.2	3	0.3	○								
				1.A.3	4	0.3	○								
				1.B.1	3	1.6			○						
				1.B.2	3	1.8			○						
				1.B.3	3	2.5			○						
				1.C.1	4	0.4			○						
				1.C.2	4	1.2			○						
				1.C.3	4	1.3			○						
				2	単語・イディオム	20	5.5	2.A.1	2	0.8	○				
								2.A.2	2	0.3	○				
								2.A.3	2	1.3	○				
								2.A.4	2	0.2	○				
2.A.5	2	0.4	○												
2.A.6	2	1.0	○												
2.B.1	2	0.4	○												
2.B.2	2	0.1	○												
2.B.3	2	0.6	○												
2.B.4	2	0.4	○												
3	文法・語法	26	11.5					3.A.1	2	1.4	○				
								3.A.2	2	0.7	○				
								3.A.3	2	0.9	○				
				3.A.4	2	0.7	○								
				3.A.5	2	1.1	○								
				3.A.6	2	0.6	○								
				3.A.7	2	0.8	○								
				3.A.8	2	1.0	○								
				3.A.9	2	0.6	○								
				3.A.10	2	1.4	○								
				3.B.1	3	1.0	○								
				3.B.2	3	1.3	○								
				4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	7.2	4.A.1	4	1.2	○				
4.A.2	4	1.6	○												
4.A.3	4	1.3	○												
4.A.4	4	0.2	○												
4.B.1	5	1.0	○												
4.B.2	8	2.0	○												
5	長文総合Ⅰ	54	20.7					5.問1	8	3.0	○				
				5.問2	3	2.0			○						
				5.問3	3	1.5			○						
				5.問4	3	2.2			○						
				5.問5	12	5.1	○								
				5.問6	10	1.2			○						
				5.問7	4	2.2			○						
				5.問8(A)	5	2.2				○					
				5.問8(B)	6	1.4				○					
6	長文総合Ⅱ	40	20.1	6.問1.1	6	1.9			○						
				6.問1.2	6	1.9			○						
				6.問1.3	6	3.7			○						
				6.問1.4	6	2.5			○						
				6.問1.5	6	3.0			○						
				6.問2	10	7.1				○					

小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学		受験者数： 45529 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	数学Ⅰ・Ⅱの小問集合	40	25.4	1(1)	5	2.5	○								
				1(2)ア	5	3.8	○								
				1(2)イ	5	2.9	○								
				1(3)	5	3.1	○								
				1(4)ウ	5	4.0	○								
				1(4)エ	5	3.6	○								
				1(5)	5	3.2	○								
				1(6)	5	2.2	○								
				2	高次方程式、確率	60	26.0	21	7	6.2	○				
								2[1](2)	9	5.6	○				
								2[1](3)	14	1.6			○		
								2[2](1)	8	5.9	○				
								22	10	5.5	○				
								2[2](3)	12	1.3			○		
				3	図形と方程式（円と直線、軌跡）	50	13.6	3(1)	8	5.6	○				
								3(2)	12	5.8	○				
3(3)(i)	12	1.6							○						
3(3)(ii)	18	0.6							○	○					
4	三角関数の応用	50	11.1					4(1)	8	4.1	○				
				4(2)(i)	6	2.6	○								
				4(2)(ii)	8	1.5	○								
				4(3)(i)	12	2.5			○						
5	3次・4次関数の微分法の応用	50	17.0	5(1)	10	8.7	○								
				5(2)(i)	10	4.6	○								
				5(2)(ii)	10	2.7			○						
				5(3)	20	0.9			○	○					
6	数列（漸化式、和）	50	16.5	6(1)	8	6.7	○								
				6(2)	12	5.2	○								
				6(3)(i)	6	2.8			○						
				6(3)(ii)	8	1.4			○						
				6(3)(iii)	16	0.4			○						

小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語		受験者数： 48673 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	29.5	1.問1.a	2	0.6	○								
				1.問1.b	2	1.3	○								
				1.問1.c	2	1.7	○								
				1.問1.d	2	1.4	○								
				1.問1.e	2	1.7	○								
				1.問2	10	9.2		○							
				1.問3	7	3.2		○							
				1.問4	7	2.5		○							
				1.問5	16	2.4					○				
				1.問6	10	5.3		○							
				2	現代文「随筆」の読解と内容把握	50	25.0	2.問1.a	2	1.9	○				
2.問1.b	2	1.9	○												
2.問1.c	2	0.0	○												
2.問1.d	2	0.6	○												
2.問2	7	4.8						○							
2.問3	7	4.6						○							
2.問4	7	3.8						○							
2.問5	14	3.5									○				
2.問6	7	3.7						○							
3	古文「物語」の読解と内容把握	50	15.8					3.問1(1)a	1	0.7	○				
								3.問1(1)b	1	0.7	○				
				3.問1(1)c	1	0.6	○								
				3.問1(2)a.上	1	0.7	○								
				3.問1(2)a.下	1	0.3	○								
				3.問1(2)b.上	1	0.7	○								
				3.問1(2)b.下	1	0.4	○								
				3.問1(2)c.上	1	0.8	○								
				3.問1(2)c.下	1	0.4	○								
				3.問2.1	2	1.1	○								
				3.問2.2	3	0.1	○								
				3.問2.5	4	0.5	○								
				3.問3(1)A	2	1.0	○								
				3.問3(1)B	2	0.7	○								
				3.問3(2)C	2	1.3	○								
				3.問3(2)D	2	1.3	○								
				3.問4	5	2.4		○							
				3.問5	11	0.6		○			○				
				3.問6	6	0.8		○			○				
				3.問7	2	0.8	○								
				4	漢文「漢詩」の読解と内容把握	40	16.7	4.問1.ア	2	0.9	○				
4.問1.イ	2	0.1	○												
4.問1.ウ	2	1.7	○												
4.問2	10	3.7						○			○				
4.問3	5	3.1	○												
4.問4	7	2.9	○												
4.問5	6	2.0	○												
4.問6	6	2.3	○												

学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認してください。

英語

文法を学習するときには使い方だけでなく伝わる意味も押さえよう！

第2問 単語・イディオム

単語の漠然とした意味ではなくニュアンスの違いを確認する問題。

語い問題では、語いの意味を覚えるだけではなく、意味合いの違い、ニュアンスの違いを認識することが重要である。単語の問題 A1 で確認してみよう。

1. Lucy began to () that Tom was lying, so she carefully observed his behavior.

ア. deny イ. doubt ウ. question エ. suspect

選択肢はすべて動詞なので、空所には動詞が入るとわかる。問題文は「ルーシーはトムが嘘をついているのではないかと思い始めたので、彼の行動を注意深く観察した」という意味で、空所には「…ではないかと思う」という意味の単語が入ると考えられる。denyには「…ということを否定する」、doubtには「…ではないと思う」、questionには「…ということを疑う/…でないと思う」という意味があるが、「…ではないかと思う」という意味はない。suspectには「…ではないかと思う」という意味があり、文意が通じる。

このように、日本語では同じような意味を持つ単語でも、意味合いの違い、ニュアンスの違いが存在することが多く、どの単語を使うかで、伝わる意味が異なることに注意したい。辞書に記されている単語

のニュアンスの違いの説明を読んでみることを習慣にしよう。

第4問 整序作文・和文英訳

文法の用法の違いによるニュアンスの違いを確認する問題。

「先行詞が〈this+名詞〉の場合は、通例、先行詞は唯一無二の存在とみなし、非制限用法の関係詞を用いる」と覚えておこう。

設問の和文を正確に英文にするには、文法を正しく用いることが重要である。和文英訳の問題 B1 で確認してみよう。

「1960年代に作られたこの道路は、今は改修中です。【This road で始め、whichを用いること】」

「1960年代に作られたこの道路」は関係詞を用いることで「1960年代に作られた」が「この道路」を修飾し、和文の主部を表すことができる。しかし、制限用法の関係代名詞を用いて、*This road which was constructed in the 1960s* とすると、「(世の中に複数ある『この道路』のうち) 1960年代に作られたこの道路」というニュアンスになり、文意が不自然である。制限用法の関係詞は、先行詞である名詞が他にも存在するニュアンスを有するからだ。一方、非制限用法の関係詞節の先行詞は「唯一無二の存在である」というニュアンスを有する。したがって、*This road, which was constructed in the 1960s,* とすることで「この道路」は唯一の存在となる。

このように、関係詞は用法が異なることで伝わる意味が変わってくることに注意したい。

数学

基本事項を確認し、思考力も養おう

第1問 数学Ⅰ・A・Ⅱ 小問集合

数学Ⅰ・A・Ⅱの基本事項

数学Ⅰ・A・Ⅱの各分野の基本事項を問う小問であったため、すべての小問で正解してほしかったが、いくつかの小問で出来があまりよくなかったものがあつた。出題された小問は、大問において前半の設問として出題される可能性もあるため、数学の成績を伸長・安定させるための第一歩として、すべての分野で穴の無いように基本事項を確認し、小問集合を高い割合で正解できる学力を身に付けるようにしてほしい。出来がよくなかった問題について、(1)で2次関数の x^2 の係数を1と勝手に決めつけて答えている答案、(5)で内分点の座標を正しく求められていない答案があつた。また、(6)で指数法則を正しく使えていない答案があつた。

第2問[1] 数学Ⅱ 式と証明・複素数と方程式

2次方程式、3次方程式が虚数解をもつための条件

(1)の与えられた3次方程式が $x=-1$ を解にもつための条件から a の値を求める問題は、ほぼすべての受験生が正しく解答できるであろうと予想していたが、想定よりも正解している答案が少なかった。本問では(2)では a の値を用いずに考えられる問題であったため、(2)の得点には影響はなかったが、入試問題では(1)で求める文字係数の値を間違えると、それ以降の設問はすべて正解できなくなるような問題もあるため、間違えた人は、今後前半の設問は慎重かつ迅速に正解にたどり着けるようにしてほしい。また、(2)の2次方程式が虚数解をもつための条件から c のとり得る値の範囲を求める問題も想定より出来はよくなかった。方針は合っているが計算を間違えている答案が多かった。計算力も大切な数学の力の1つなので、日頃の勉強で問題の解答を見るだけでなく、自分の手を動かすことを心掛けてほしい。(3)では、3次方程式の左辺が因数分解できることに気付いていない答案や白紙の答案が散見された。解いたことがない問題は手が付けられないという人は、【学習の手引き】で「なぜそのように解くのか?」を意識して復習してほしい。

国語

【現代文】

問五

思考力や記述力を問う問題

記述問題は、選択肢の問題と異なり、自分で解答を作らなければならないので、事前に「どういう解答を書こうか」といういわば〈設計図〉を書いておかねばならない。この設問では、傍線部に「それ」という指示語があるのでまずはその内容を確認する。その上で「人間とはそもそもいかなる存在なのかという実存的な問題」とはどういうことかを本文の記述から考えていく。この手順を守れたかどうかをまずは振り返ってほしい。「それ」は直前の「機械と人間との関係」を指すが、本文の論旨をたどっていくと、この「関係」は老いや死をめぐるものであることが分かる。「実存的な問題」とは、この老いや死をめぐるものと読み取り、的確に解答を構成したい。

問五

思考力や記述力を問う問題

傍線部は「ケアの倫理」に引かれているが、設問が「現代の家族に求められている『ケアの倫理』とはどのようなものか」と問いかけているのに注意したい。したがって、まずは「現代の家族」がどのような問題を抱えているか、そしてそれに「ケアの倫理」がどのように働きかけていくかという二点を答案に書く。ただし、この問題は、傍線部の周囲を単純に抜き出しただけでは、上記の二点を満たすことはできない。たとえば「異なる物語を抱えて闘争している二人をゆるやかに結び合わせる空間、戻ることのできる場所がひそかに用意されている」という傍線部の直前だけでは、満足な答案にはならない。「現代の家族」については、⑨などから〈家族や個人のありかたが多様化している〉こと、⑧などから〈それぞれが異なる役割／物語を生きている〉ことをきちんと指摘したい。さらに「ケアの倫理」については、⑨などから〈相互に依存し合いながらも共生していく〉といった内容や、傍線部の直後から〈家族の関係を保つ〉といった内容を読み取りたい。〈設計図〉を思い描いた上で、なるべく本文を広くとらえて、必要な内容を肉付けしていくというやり方をぜひ身につけてほしい。

【古文】

敬語の理解と人物の把握。

第三回の主題は敬語だが、各回通して出題し、得点源となる現代語訳についても言及しておく。今回は、第三回でもあり、前二回よりやや難しい語句も問うた。ただ、さほど難しくない傍線部5「とくまうでん」が意外にできていなかった。高二のこの時期としては心もとない。単語や語法学習の強化で他の受験者に差をつけられるという意識は重要である。主題の敬語だが、直接それを問うた問一の得点率と、前述問二「とくまうでん」における現代語訳の得点率が連動しているのは興味深い。敬語「まうづ」の学習が達成されていないさまが現代語訳にも現れている。また、今回説明問題で気になったのは、問六で「誰が」という主体を答えるところに誤答が多かった点である。ここは段落がかわり場面転換を表すが、同時に「かしこ」という古語の意味も正しく理解していたかも問われている。人物描写の理解については、傍線部だけにとらわれず前後の表現への目配りをも忘れないように。また、ここでも、形容詞「さうごうし」の意味が理解されていないという古語学習の弱点が露呈された。

【漢文】

問二

文章の展開を理解し、工夫して表現する力を問う問題

問二は、「心から自分の行いを謝罪した」という意味の傍線部について、「誰がどのようなことを謝罪したのか」を説明する問題であった。答案の中には、設問で要求されている基本的な内容＝「雍元規が」「無礼な振る舞いをしたこと(を謝罪した)」は答えていても、雍元規が無礼に振る舞ったのが「どのような場での出来事なのか」という内容＝「前日田況の催した酒宴の席で」についてまったく触れていない解答が多かった。また、雍元規が無礼に振る舞った原因＝「酒を飲みすぎたため」という内容を欠いたものも目についた。漢文の説明問題は、単に傍線部に直接結びつく核心部分だけをまとめるだけではなく、核心部分を補足する具体的な内容を答案に盛り込むことが大切である。そのためには、重要語や基本句形の習得を土台として、一つ一つの文を丁寧に訳すことが大切である。これらの点に心がけて文章読解の演習を重ねてほしい。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第3回全統高2模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに、郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は、記入例を参考に以下の事項を記入してください。

1. 科目名、大問・設問番号
 2. 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
 3. 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

1. 「採点に関する問い合わせ用紙」
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
 2. 「個人成績表」
 (コピーでもかまいません。)
- * ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

12月12日(金)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、1月13日(火)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。
2. 利用目的 ・成績処理および成績返却
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)
 0120-977-558

*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただきます。

2025年度 第3回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名			受験会場名		
受験番号		個人成績表の解答用紙番号			—
高校名		クラス名		クラス番号	
住所(連絡先)	〒 — ※マンション名、部屋番号まで記入してください。 方				
電話番号	() —	携帯電話番号	() —		

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

- ←該当する項目(A～E)を左に記入してください。
- A: 正答が×になっている。
 - B: 部分点が正しく与えられていない。
 - C: 採点されていない箇所がある。
 - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
 - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区:北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022)215-7581
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】